

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	ソーシャルワーク演習(専門)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年 木曜1限	教室名	5校舎7階
担 当 教 員	西川 孝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
精神障害者に対する疾病や障害特性に配慮した、相談面接の持ち方、コミュニティワークの展開などを事例を通じて学び、実習や実務で必要な相談援助技術を身につけていく。特にロールプレイを用いることによって、具体的に面接がどのようなものであるかを体感し、対象者と向き合った時に戸惑うことが軽減されるよう演習する						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、出席状況、定期試験、小レポート						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
精神保健福祉援助演習(1)中央法規、プリント						
《授業外における学習方法》						
友人や家族の協力を得てロールプレイを行なう。日頃から相談援助的な会話を意識する						
《履修に当たっての留意点》						
実践的なスキルが必要になってきます。授業で学んだことをプライベートな会話でも意識して相手と向き合ってみる						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて危機介入に関する知識を習得し概要を説明できるようになる。		プリント	配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	実践モデルおよびチームアプローチ別の相談援助の理解			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	児童虐待の防止について概要を説明できるようになる。		テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、社会復帰としての地域移行支援について知識を深め説明できるようになる		テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、社会復帰としての地域定着支援について知識を深め概要を説明できるようになる		テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、医療観察法における社会復帰について知識を深め概要を説明できるようになる		テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくこと
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、権利擁護について知識を深める説明ができるようになる	プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、就労支援の一環として実施される生活支援について知識を深め説明ができるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、就労支援の為の社会資源の活用について知識を深める。	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	経済的支援として障害年金の活用に関する知識を深め説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	経済的支援として社会資源につなげる支援に関する知識を深め説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	当事者支援と様々なセルフヘルプグループについて知識を深め説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	当事者支援の方法として、障害福祉領域に限らず様々な場面でも活用されるピアサポートについて知識を深め説明できるようになる	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討によって、家族支援が精神障害者家族にとって重要な課題であることを学び説明できるようになる。	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	支援課題別の相談援助の理解		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでに学んだ内容をテーマ別にアウトプットできるようになる①	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	学習の振り返りとまとめ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでに学んだ内容をテーマ別にアウトプットできるようになる②	テキスト・プリント	配布するプリントを読む でくること
		各コマにおける授業予定	学習の振り返りとまとめ		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	ソーシャルワーク演習(専門)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年 木曜1限	教室名	5校舎7階
担 当 教 員	西川 孝	実務経験とその関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、取り巻く状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性の基礎を獲得する。 ②精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。 ③精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。 ④精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。 ⑤精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 小テスト・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新精神保健福祉士養成講座7 『ソーシャルワーク演習』 中央法規出版						
《授業外における学習方法》						
様々なメディアで取り上げられる精神障害者関連の問題について積極的に関心を持ち、知る努力をすすめて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
3期に渡る科目のため、学年や実習前後のタイミング等に合わせた事例を提供します。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。		テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。		テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。		テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。		テキスト事例	テキストの該当部分通読 およびテスト対策テスト対策
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。		テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読およびテスト対策
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読およびテスト対策
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例検討を通じて、幅広い領域、様々な課題、法制度・サービス、援助技術について実践的に精神保健福祉士として共通する原理を体得する。	テキスト事例	テキストの該当部分通読
		各コマにおける授業予定	事例検討、グループワーク、発表等		